

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら川崎大島教室 児童発達支援			
○保護者評価実施期間	2024年9月2日		～	2024年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27人	(回答者数)	27人
○従業者評価実施期間	2024年9月2日		～	2024年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月5日			

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・基準人員以上に職員配置がされている。	・お子様の特性を踏まえた上で、職員の経験値やスキルに応じた配置を心がけ支援の格差が生じないように工夫している。 ・働きやすい環境を作る事を意識している。	・定期的に行っている職員面談で、課題などを明確にし職員間で情報共有を密に図り、連携を深めていくことができるように努めていく。
2	・教室の美化、衛生管理、設備に関して日々職員が率先して行っている。BCP対策とそれに沿った安全で安定した運営を心がけている。 ・安全で安定した支援を続けるための意見交換ができる環境作りに努めている。	・教室の掃除は毎日行い、定期的に教材の消毒や状態の確認などを行い、安全に療育が行われるよう留意している。 ・避難訓練を行い、方法など職員間で常に意見交換をしている。	・現在行っている取り組みを継続的にやっていく。
3	・楽しく通っていただいているお子様が多い。 ・充実した活動支援プログラムの構成ができています。	・5領域を踏まえたプログラムを作成している。 個別で支援も行っているのでお子様の成長に合わせて支援の幅を広げている。	・今後さらに個々に応じた支援の充実が図れるように活動プログラムの工夫を行っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会や保護者同士の交流が出来ていない。	・保護者様から個々での相談は随時対応しているが今現在保護者同士の交流は実施していなかった。 ・保護者様によっては必要としない家庭もある。	・今後はイベント開催時などで保護者交流のタイミングを設けていき、お子様も交え参加しやすい雰囲気を作っていきたい。
2	・パート、社員とシフト勤務のため、情報の共有に時間がかかる。	・同じタイミングでミーティングや振り返りを行う事が難しい場合がある。	・朝礼、昼礼、夕礼で情報を共有する意識を高めていく。 LINEやBandを活用し伝達漏れがないようにしていく。
3	・専門職員による支援。	・作業療法士、言語聴覚士、心理士など専門職による直接支援が望ましいが、現段階では全ての専門職員が確保できていない。	・職員の募集は受け付けている。 ・職員の研修も積極的に取り入れ専門性につながる支援のスキルアップにつなげていく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうす川崎大島教室 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2024年9月2日		～ 2024年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2024年9月2日		～ 2024年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	季節や日本の文化に触れた内容などのプログラムを毎日行っている。	パート、常勤で朝、昼、夕礼ミーティングを行い子どもの様子を伝え合っている。	現時点で大島教室で困った事が無くうまくやれているのでこのまま行う。
2	プログラムをパート、常勤含めた全職員が担当できるようになっている。	プログラムを決める際全職員で案を出している	現時点で大島教室で困った事が無くうまくやれているのでこのまま行う。
3	お誕生日の子や面談をした保護者には、一年間で撮った写真をまとめたものをプレゼントとして渡している。	毎日利用者の写真をたくさん取っている。 インスタグラムやこぼん新聞で写真が被らない様にしている。	写真を引き続き撮るが、週に一度の利用の子は比較的に写真の量が少なくなってしまうので職員同士で声を掛け合う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員人数に余裕がなく、各利用者への関わりが少なくなってしまう。	職員の増加。	職員の増加。
2	事務的作業面が完結できない事がある。	誰かがやってくれると思っている。	職員同士の声掛け。
3	備品の状態が悪い。	予算が限られており、新しい物ではなく、中古品になってしまう。	予算の再検討。